



令和3年（2021年）12月1日

23

Clean Authority of TOKYO

発行：東京二十三区清掃一部事務組合 第30号
世田谷清掃工場
〒157-0074 世田谷区大蔵一丁目1番1号
電話 03-3416-5355 FAX 03-3416-5387
見学に関するお問合せ 03-3416-5339（技術係）

<https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/kojo/setagaya/index.html>

第29回運営協議会を開催しました



受付での検温の様子

11月12日に第29回運営協議会を当工場で開催しました。今回は、今年4月から9月までのごみ搬入量や焼却量、区民の声対応状況、排ガスや排水の環境調査結果などを報告しました。委員からの「6月の受電電力量（電力会社からの電力供給量）がなかったのはなぜか」との質問には、「6月はごみ焼却を利用した工場内の発電で工場で使用する電力をまかなえたので受電が不要だった」との説明がありました。

※運営協議会は町会・自治会、マンション管理組合、PTA、世田谷区、当組合で構成され工場の運営について情報提供や意見交換をしています。資料（ごみ搬入量、環境調査結果など）はホームページに掲載しています。

 

QRコード



くみちゃん

「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

しきりょう 東京2020オリンピック馬術競技の敷料を受け入れました

東京2020オリンピックの馬術競技会場であった馬事公苑から7月20日～8月7日に馬が使用した敷料（寝床に敷く稲わらなど）約143トンを受け入れ処理しました。新型コロナウイルス感染症により世界が困難に直面する中、人々に感動と希望をもたらした東京2020オリンピックに貢献できました。



搬入された敷料

せたがやふるさと“オンライン”区民まつり2021に参加しています



サイトトップページ

今年のせたがやふるさと区民まつりは、インターネットを活用したオンラインで開催されており、世田谷清掃工場と千歳清掃工場も参加しています。オンラインの特設サイトでは、各種団体の紹介ページや交流自治体のPRページが設けられています。オンラインならではのさまざまなコンテンツが盛り込まれていますので、右のQRコードからご覧ください。視聴期間は令和4年2月28日までです。



資源とごみの出し方に関するお問合せ				粗大ごみのお問合せ
世田谷区 清掃・リサイクル部事業課 ☎03-6304-3267	世田谷清掃事務所 (世田谷・北沢地域) ☎03-3425-3111	玉川清掃事務所 (玉川地域) ☎03-3703-2638	砧清掃事務所 (砧・烏山地域) ☎03-3290-2151	世田谷区 粗大ごみ受付センター ☎03-5715-1133

ごみにしたらもったいない



くみちゃん

毎日、清掃工場にごみが運ばれていますがその中身はどのようになっていますか。

世田谷清掃工場に運ばれるごみの内訳は、紙類約39%、プラスチック類約24%、
ちゅうかい
厨芥約18%、繊維約8%などとなっています※1。一方、世田谷区の調査では家庭から出る可燃ごみのうち約20%ものリサイクルできる資源がごみに出されていることがわかっており※2、お菓子などの箱、雑誌・本、段ボールなどの紙類や布類が多いと言われています。

※1「東京二十三区清掃一部事務組合 令和2年度清掃工場等ごみ性状調査年間報告書」

※2「世田谷区 家庭ごみ・事業系ごみ組成分析調査及び計量調査報告書（令和3年度版）」



清掃工場のおにいさん



リサイクルして再生させることができるのにごみにして燃やすなんてもったいないですね。

リサイクルする方法が確立されている、古紙（新聞紙、雑誌、チラシ、段ボールなど）・びん・缶は週1回、ペットボトルは月2回、決められた日に資源として出してください。今年から紙パックも週1回資源の日に出せるようになりました。発泡トレイなどを回収している世田谷区の施設や小売店もありますので、ご利用の施設やお店で確認してみてください。不定期ですが服などの布類を公園や学校などで回収している町会・自治会などもあります。詳しくはQRコードから世田谷区のホームページをご覧ください。



「厨芥約18%」とは何ですか。

野菜くずなどの生ごみのことですが、まだ食べられる食品もごみに出されています。いわゆる「食品ロス」です。わが国全体では年約600万トンもの「食品ロス」が発生していると言われています※1。これは、国連が貧しい国や紛争地に食料援助した年約420万トンを上回る量です※2。

※1農林水産省平成30年度推計値 ※2WFP（国連世界食糧計画）令和2年実績



「食品ロス」を減らすにはどうしたらいいですか。

まず、食品を捨てることにならないように、買い物ときは食べる分だけ買う、買った食品はなるべく早く食べる、料理を作り過ぎない、ことではないでしょうか。冷蔵庫がいっぱいで賞味期限切れ食品が見えなかった、電子レンジで温めたのを忘れて食卓に出さず食べられなくなった、などにも気を付けてください。



どうしても食べきれない食品が出てしまうこともあるのですが。

「フードドライブ」と言って、家庭で余っている食品等を持ち寄り、地域の福祉団体や施設等に提供する活動があります。世田谷区の庁舎や施設で受け付けています。未開封（包装や外装が破損していない）、賞味期限（要明記。塩や砂糖は除く）まで2か月以上ある、冷凍・冷蔵でないもので、お米、インスタント・レトルト食品、うどんなどの乾麺、みそなどの調味料、缶詰、お菓子、飲料（お酒は除く）、防災食品、ベビー食品などが対象です。詳しくはQRコードから世田谷区のホームページをご覧ください。

